

高等学校地理における防災教育

—新指導要領を踏まえた実践に向けて—



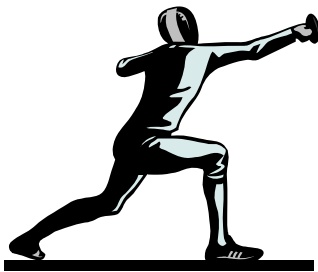
2010. 3. 27

日本地理学会シンポジウム

伊藤 智章(静岡県立吉原高等学校)

本日の報告

1. 「脅しの防災」はもうやめよう
2. キーワードは「先人の知恵の可視化」
3. 景観から知恵を読みとり物語を作る
4. 「防災」は新「地理A」の旗艦単元である。



高校地理再必修化の
道しるべ！

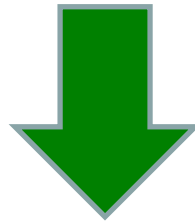
1. 「脅しの防災」はもうやめよう



片田(2008)の問題提起

被災地の凄惨な写真を見せて「教訓」を語る

結果論としての「原因」「要因」解説



教育効果に疑問

チリ地震(1960年)の津波にのまれる 宮城県女川町



<http://pubs.usgs.gov/circ/c1187/>



7:30 a.m.

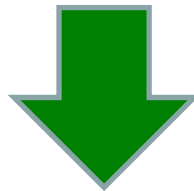
Window gone

Front of new wave

Water line from 4:55 a.m.

D

2010年3月5日 チリ地震に伴う
「大津波警報」「津波警報」



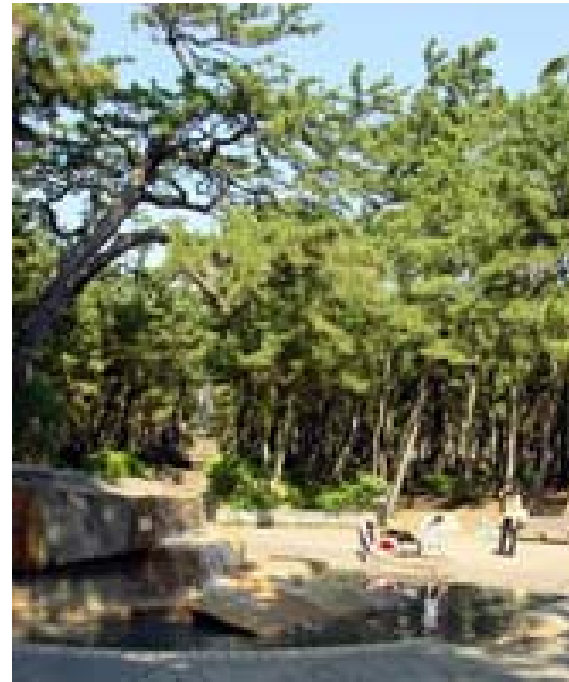
49万3000人に避難勧告・指示
実際に避難した人は6.5%

93.5%が**無視**

新学習指導要領「自然環境と防災」

我が国の自然環境の特色と自然災害とのかかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる

2. 先人の知恵を景観に読み取る



千本松原(富士市～沼津市)

©沼津市観光課

<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kankou/sanpo/senbonmatu/aruku01.htm>

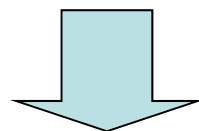
我が国

国内

かかわり

地域性を
踏まえた対応

未曾有の恐怖を[あおり](#)、警鐘を鳴らす



身近な対策、過去の知恵に学ぶ防災教育

もし、津波が起きたら
どうしよう……。

もし、富士山が噴火
したらどうしよう……。

「ありえない」「起こって欲しくない」

「自分は多分助かるだろう」

「起きたら起きた時に考えるしかない」

先人達は、過去に何度も津波に見舞われ、復興してきた。

今度富士山が噴火する時は100回目かもしれない。

現実を冷静に受け止める。

先人が自然災害とどう付き合ってきたのかを知る。

災害へのリスク<自然から受け取る恵み

・・・だから人はそこに住み続ける(離れない)。

現実を「直視する」教材 身近な景観に見る減災の「知恵」

到達点

地元の知恵を知り、敬意をもって学ぶ意欲。
世界の災害の教訓を自分達に当てはめて
考えられる生徒を育てる。



学校と地域・保護者とのコミュニケーション ツールとしての「防災教育」

郷土の歴史に興味を持ち、自然を大切にする。
知識を生かして、地域活動に積極的に参加する。
生徒・教師・学校

あの学校は面白い
ことをやっている。

地理を学ばせ
て良かった

なぜこの学校には
地理がないの？

3. 景観から防災を考える実践例 (東駿河湾を例に)



写真(1)富士川の水管橋



<http://www.wsp.gr.jp/suikankyo.htm>

写真(2) 田子の浦(大正年間)



(行發所粉々社神龍徳社大將宮宮本山土室)

VIEW OF MT. FUJI FROM TAGONOURA.

岳望浦ノ子田

写真(3) 田子の浦港(現在)



国土交通省清水港湾事務所 http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp/port_tagonoura/index.html

写真(4) 塩水につかる南太平洋の島



ツバルと田子ノ浦の共通性を 探った生徒達





高潮・津波に襲われて来た我が街



皇太子(昭和天皇)がゴルフを楽しんだリゾート地

⇒高潮で壊滅



日本第2番目の掘り込み式港湾「田子ノ浦港」(昭和36年8月開港)

⇒**潮害への抜本的な対策と工業振興を両立！**

のはずだった……。

揚水のしすぎと掘り込みの悪影響(?)

で地下水が**塩水化**

富士川右岸から工業用水を引いて対応するも、未だに解決せず。



ヘドロと並ぶ田子ノ浦の**負の遺産**

4. まとめ

「防災」は新「地理A」の**旗艦単元**。



「日本史必修化」

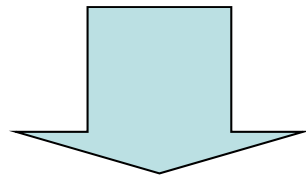
- 自国や郷土への愛着と知識を定着させる
- 都道府県議会レベルで採用議決
- 東京都・神奈川県が次期指導要領で導入

避けられない流れ

まともに対抗しても勝てない

逆らうのではなく時流に乗る

- 地理Aの「自然災害と防災」の日本重視
- 日本史A(近現代史中心)と地理Aの親和性



日本史 or 地理の選択を迫るのではなく

日本史 and 地理で豊かな学びを保証

生徒・保護者・地域を味方につける

地理を学ばせて良かった

あの学校は面白い
ことをやっている。

なぜこの学校には
地理がないの？

高校地理での「防災」

地理**再必修化**の
道しるべ！



組織的・計画的な教材開発と啓蒙活動が必要！

新指導要領「完全実施」までの3年間で勝負！